

第3回宮崎県生涯学習実践研究交流会

～みやざきの未来を紡ぐ 生涯学習～

第174回生涯教育まちづくり移動フォーラム in みやざき



期 日 平成30年12月15日(土)

会 場 宮崎県教育研修センター

9:30 ～ 10:00	10:00 ～ 10:15	移 動	10:25 ～ 11:15	移 動	11:25 ～ 12:15	12:15 ～ 13:50	移 動	14:00 ～ 14:50	移 動	15:00 ～ 16:40	16:40 ～ 16:50
受 付	開 会 行 事		実 践 発 表 I		実 践 発 表 II	ポ ス タ ー ・ セ ッ シ ョ ン 昼 食 ・ 休 憩		実 践 発 表 III		イ ン タ ビ ュ ー ・ ダ イ ア ロ ー グ	閉 会 行 事

実践発表の様子

地域と学校等との連携・協働や地域づくりに取り組む県内12団体による実践発表が行われました。熱い思いをもった皆さんによる様々な視点からの発表は、どれも参考になるものばかりであり、各分科会とも盛況となりました。

【第1分科会】「地域と学校等との連携・協働Ⅰ」

- 「地域と協創する教育プログラム～グローバル人材の育成を目指して～」
宮崎県立飯野高等学校 教諭 梅北 瑞輝
- 「地域は大きな教室 地域はパートナー～地域の連携を生かした教育活動の充実～」
本郷まちづくり推進委員会 会長 甲斐 慎二 宮崎市立本郷小学校 地域連携担当 大野 聡彦
- 「電子メディア社会の親子を支える～現状を知り、子どもたちを守る取組を～」
子どもとメディアみやざき 代表 糸数 智美



【第2分科会】「地域と学校等との連携・協働Ⅱ」

- 「高校生が本気で動き出す！～高校生×宮崎のかわいい大人～」
みやざきジョブシャドウイング実行委員会
代表 猪俣 志保 副代表 川内 健二 竹中 美奈子 向 美希 小濱 后央
- 「地域の伝統芸能『俵踊り』を学校と地域が守り、育んでいくための取組について」
宮崎市立穆佐小学校 教諭 佐々木 博人 俵踊り保存会 岩切 光市
- 「ホタルの舞う高校づくり！～ホタル育成を通して、地域環境保全の発信を～」
宮崎県立門川高等学校 ホタルプロジェクト班 顧問 吉田 巧



【第3分科会】「地域づくりⅠ」

- 「将来へつなぐ伝統的な家代の祭り～世代を越えて受け継がれるもの～」
諸塚村家代青年部会 家代青年元会長 堀 泰
- 「障がいのある人たちの野外活動の実践～発達を支えと社会参加の場を求めて～」
霧島おむすび自然学校 事務局長（代表代行） 壹岐 博彦
- 「『お仕事体験！わくわく WORKS』～地域活性化は自分たちで～」
山田町商工会青年部 部長 川野 雅人



【第4分科会】「地域づくりⅡ」

- 「自治公民館活動と地域づくり～子ども見守り隊活動を通して～」
川南西地区自治公民館 館長 岩田 博
- 「メンバーが増えん!!～青年団体の生き残り方～」
地域づくりサークルわかあゆ 会長 中尾 渚 副会長 平山 祐大 甲斐 愛美
- 「りんりん食堂から『どうぞ便』へ」
傾聴ボランティアすずむしの会 りんりん食堂 代表 藏元 盟子 内窪 弘子



(参加者の声)

- 発表者の熱い思いと行動力に感動しました。
- 様々な活動をされている方々の熱い思いが伝わるととてもいい時間でした。
- 発表者の方とつながることができ、今後協働していくきっかけが生まれました。



ポスター・セッションの様子

県内外の10の企業に参加いただき、各企業が特色を生かして取り組んでいるCSR活動等の紹介を通して、企業と学校・家庭・地域が一体となって取り組む「みやざきならではの生涯学習」について、意見交換を行いました。

【参加企業】 (場内の番号順)

- | | |
|-----------------------------|------------------|
| 1 株式会社日向中島鉄工所 | 2 株式会社NTTドコモ九州支社 |
| 3 株式会社ホテルマリックス | 4 九州電力株式会社宮崎支社 |
| 5 サラみやざき (オフィスM・A・Tプロダクション) | 6 有限会社しゃくなげの森 |
| 7 九州旅客鉄道株式会社宮崎総合鉄道事業部 | 8 UMKテレビ宮崎 |
| 9 南日本ハム株式会社 | 10 株式会社SUNAO製菓 |



(参加者の声)

- いろいろな企業が地域に根差した取組をしているということを知ることができ、よかったです。
- 企業の方々と大変近い距離で交流できました。
- 企業の方が考えていることを知ることは大変よい機会でした。多くの教育関係者に聞いてほしい。

企業の方々に参加いただくのは、本交流会では初めての試みでした。企業と積極的に連携・協働を進めていこうという視点は、「みやざきならではの」ということができます。

参加者は、企業の方々の思いや実際に取り組んでいることを直接聞くことができ、有意義な時間となりました。

インタビュー・ダイアログの様子

テーマ「協働によるみやざきの人づくり・地域づくり」

【登壇者】

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| ・非特定営利活動法人五ヶ瀬自然学校 理事長 | 杉田 英治 氏（五ヶ瀬町） |
| ・株式会社ダーバン宮崎ソーイング 管理部総務管理課係長 | 坂元 真弓 氏（日南市） |
| ・小松台北町子ども会 | 鈴木 重徳 氏（宮崎市） |
| ・一般社団法人ガールスカウト宮崎県連盟 県立高鍋高等学校2年 | 谷口 さくら 氏（高鍋町） |

【聞き手】

- ・生涯学習通信「風の便り」編集長 三浦 清一郎 氏



三浦氏の巧みなコーディネートにより、4名の登壇者それぞれの立場から、実践を踏まえたお話を聞くことができました。

参加した皆さんが、これからの子どもたちのために何ができるか、自分が住む地域のこれからのために何ができるかをともに考える時間となりました。

（参加者の声）

- 年代、職や活動の異なる方々の考え方や活動について知ることができ、今後のまちづくりについての関心が高まった。
- これから生きていく上で、大切なことを考えさせられました。大人がしっかりしなければと思いました。子どもの未来は大人がつくらなくてはと強く感じたところでした。
- 4名の熱い思いが伝わってきました。私も何かやらなければ…そんな気持ちがありました。

第3回交流会を盛り上げたあれこれ

開会行事



副実行委員長の宮田わかなさん（OFFICE わかな、宮崎花ふぶき一座座長）ら3名のチンドンによる開会宣言で、会場は大いに盛り上がりました。

手作り看板

入口には、実行委員の桑畑拓さん（延岡市キャリア教育支援センター）の手作り看板を設置し、参加者を迎えました。



市町村PRコーナー



県内12の市町村からポスターやパンフレット、特産品等をご提供いただきました。

学生ボランティア



宮崎大学教育学部の学生さんがボランティアとして本交流会の運営に協力してくれました。

スタッフTシャツ



今年はお揃いのスタッフシャツを作り、明るい雰囲気をつくりました。

参加者数

一般参加者	232名
発表者等	44名
スタッフ等	67名

計343名